



がづの**市議会**だより



産業建設常任委員会による桃木の枯れ被害調査

9 月定例会	2	委員会審査ズームアップ ..	9
一般質問に9名登壇	3	議案審議結果一覧	10
委員会派遣調査報告	8		

第5回定例会

文化の杜交流館条例など
原案可決

平成26年第5回定例会
が9月5日（金）から9
月25日（木）までの21日
間の日程で行われ、報告
3件、決算特別委員会
で審査する決算認定8件を
除く、議案19件及び認定
1件が上程され、原案可
決及び認定されたほか、
議員提出議案についても
原案のとおり可決しまし
た。

9月定例会に提案され
ました議案の審議結果に
つきましては、10ページ
に掲載しております。

「決算特別委員会」を
設置し、決算を審査

定例会最終日の9月25
日に、当局より追加提案
されました平成25年度一
般会計及び特別会計歳入
歳出決算認定案件8件に
ついて、決算特別委員会
を設置し、議会閉会中に
審査しております。
詳細につきましては、

次号（2月1日発行予定）
でお知らせする予定とし
ております。

◇決算特別委員会（10名）

◎委員長 中山 一男

○副委員長 成田 哲男

▽委員 館花 一仁

児玉 悦朗

田口 裕

和井内貞光

兎澤 祐一

浅石 昌敏

黒澤 一夫

倉岡 誠

主な議案の審議内容

一般会計補正予算（歳出）

2款総務費（仮称）

質問

学習文化交流施設

整備事業について、人件
費や資材を中心とした物
価上昇により請負代金額
の変更をするための補正
とのことだが、委託料な
どには影響がないのか、
また、工期も1カ月以上
延びることにより4月才

1プランに支障はないかた
だしております。

【答弁】 これに対し、今回
の補正は工事請負

費のみであること、また、
4月中のオープンに支障

がないよう進めてまいり
たいとの答弁がなされて
おります。

物品の購入

【質問】 購入するコンサー
トスタンドピアノ

について、スタインウェ
イ&サンズ社製のピアノ
を選定した理由について
ただしております。

【答弁】 これに対し、著名
なアーティストは

コンサート開催の条件と
して同社のピアノを指定
することが多く、世界的
に評価が高いピアノがあ
るホールとしてPRでき
るとの答弁がなされてお
ります。

文化の杜交流館条例

【質問】 文化ホールの使用
料について、午前

午後、夜間、全日と区分
されているが、このよう
に区分した理由について
ただしております。

【答弁】 これに対し、使用
料は他の施設等の

使用時間の区分を参考に
決定したものであるとの
答弁がなされております。

図書館条例

【質問】 指定管理者を導入
することとしている

が、いつ頃から募集を
開始し、募集範囲はどの
程度で行うかただしてお
ります。

【答弁】 これに対し、議決
後速やかに公募作

業を行い、また、公募範
囲は全国であるとの答弁
がなされております。

議会へ提出された

請願・陳情審議結果

平成26年第5回定例会
では、請願2件、陳情3
件を審議しました。
結果は次のとおりです。

請願

《採択》

◆地域経済の発展と雇用
の安定に関する意見書
提出を求める請願

◆「鹿角の地酒による乾
杯を推進する条例」の
制定を求める請願

陳情

《採択》

◆軽度外傷性脳損傷の周
知及び労災認定基準の
改正などを求める陳情
《継続審査》

◆消費税増税に関する意
見書の提出を求める陳
情

◆ウイルス性肝炎患者に
対する医療費助成の拡
充に関する陳情

議会から

関係機関への意見書

9月25日の本会議にお
いて、議員より提出され
た意見書3件について、
原案可決し、関係機関へ
提出しております。また、
採択となった鹿角の地酒
による乾杯を推進する条
例の制定を求める請願は、
市長に送付し、対応を求
めることとしております。

◆林業・木材産業の成長
産業化に向けた施策の
充実・強化を求める意
見書の提出について

◆地域経済の発展と雇用
の安定に関する意見書
の提出について

◆軽度外傷性脳損傷の周
知及び労災認定基準の
改正などを求める意見
書の提出について

鹿角街道について

問 文化庁の補助適用を受けてブラッシュアップする考えはないか

答 文化庁の補助事業として紫根染め・茜染めの材料増殖や無形民俗文化財の記録保存等を実施しております。鹿角街道に関しては観光振興・歴史継承の観点から推進しております。

福祉対策について

問 福祉関連施設の増設計画と、保険料負担の見込みについて

答 慢性的な入所待ち緩和のため、現在、市内2カ所で小規模特養ホームの整備を進めており、平成27年度からサービス開始となります。介護保険料への影響は若干となる見込みです。

防災対策について

問 広島土砂災害を踏まえた、自治会等と行政との情報伝達体制について

答 広報車や自治会長などへの電話、メールに加え、コミュニケーション等複数の手段で情報提供をしております。

空き家対策について

問 空き家の実態調査で4区分にまとめた内容について

答 調査した852戸を適正管理の面から区分したものであり、倒壊や建築材の飛散など危険度が高いD区分が110戸となっており、その扱いについて、著しく危険が高い建物や観光ルート沿いの物件は行政代執行も視野に入れた検討をしております。

民話の里づくりについて

問 コモツセの中に、民話を語る常設スペースを確保できないか

答 コモツセにおいては地域固有の文化資源及び民俗芸能とのふれあいに関する取り組みを推進していくこととしており、民話をはじめ、地域のさまざまな団体が活動する場を提供したいと考えております。このことから、常設のスペースを設けてはおりませんが、文化ホールのほか、市民センターの講堂や研修室など、団体の活動内容に応じたスペースがありますので、大いに利用していただきたいと考えております。

質問した項目

■鹿角街道について ■民話の里づくりについて ■学校教育におけるPC活用等について ■道徳教育の取り組みについて ■NIE（学校などで新聞を教材として活用すること）の取り組みについて ■空き家対策について ■防災対策について ■本市の人口減対策について ■福祉対策について



福島 寿榮 議員

(誠心会)

成田 哲男 議員

(公明・鹿真会)



質問した項目

■豪雨や土砂災害について ■市税不納欠損後の対応について ■公共交通の確保について ■全国高等学校スキー大会について ■小中学生の競技スポーツの振興について ■公園施設整備等について ■指定管理者制度について ■市営住宅の建設について ■中学校の通学路の確保について

豪雨や土砂災害について

問 小中学校の児童や生徒の災害時の意識付けについて伺う

答 各学校では学校防災計画を整備し、基礎知識の習得や避難訓練を数回実施しております。また、県の防災教育外部指導者派遣事業を活用して児童生徒の意識を高めたいと考えております。

市税不納欠損後の対応について

問 昨年から再発防止に向けた取り組みの現状について伺う

答 管理システムの適正運用、職員の意識改革、研修内容の共有などの業務改善に取り組んでおります。また、マニュアルも作成しましたので、再発防止に活用してまいります。

公共交通の確保について

問 デマンドタクシーの利用について伺う

答 今年5月より廃止代替バス路線で運行を実施しております。新たな導入については、地域の意見を聞きながら検討していきたいと考えております。また、小中学生の部活動に

あわせて土、日の運行は、特性上難しいと考えております。

小中学生の競技スポーツの振興について

問 アスリートキッズの公募状況や事業の進捗について伺う

答 年長児から小学校5年生児童を対象に10月から応募を始め、11月下旬に選手選考を行う予定であります。

公園施設整備について

問 市内の公園等に1、2歳児が遊べる遊具が無い理由を伺う

答 国交省の指針により1〜2歳児の遊具は製造されておられません。安全に遊べる年齢になるまで、広場や子育て支援センターなどの活用をお願いします。

市営住宅の建設について

問 今年度予定地の選定の計画であるが、進捗状況について伺う

答 毛馬内及び四ノ岱両住宅は建て替えることとし、候補地選定は、利便性や良好な環境を満たす候補地を検討する必要があります。入居者や地域住民と協議して選定してまいります。

「かづの厚生病院」医療体制の更なる充実について

問 医療体制の更なる充実を図る必要があると思うが実情について伺う

答 現在16の診療科があり、常勤医師による診療科が9科となっている。また、今年7月から泌尿器科の常勤医師が不在となったため、週2回のみ診療となっていました。人工透析の患者さんに対しては、他科の医師の協力です。これまでどおり対応していただいております。なお、10月からは、循環器内科に常勤医師が派遣されることとなりましたので、今後医療体制の充実に向け取り組んでまいります。

医学生修学資金貸付事業について

問 制度の内容及利用状況を伺う

答 本市で医師として働く意思のある方で、医学部に合格した方を対象に、入学金や学費の貸し付けを行うもので、制度への問い合わせはあるものの、実際の利用には至っていない状況にあり、ニーズに合

わせた見直しを図りながら、制度の活用を呼び掛けてまいります。

問 お医者さんになりたという夢を持っている子どもはたくさんいる。実際ににお医者さんに学校に来ていただき、医師の職業の大切さを学ぶ機会を作るなど、なお努力をお願いしたい。

答 岩手医大オーブンキヤンパスツアーを実施しており、また、医師の学校への派遣についても出来るだけ実施してまいりたいと考えております。

国道103号「大湯五の岱工区」の改良工事について

問 改良工事の進捗状況を伺う

答 8月7日に地元住民説明会で事業スケジュールや計画の詳細が示されたところです。全体で11メートルの幅員となるほか、急カーブ区間を解消する内容となっております。9月中に用地測量の発注を行い、用地補償の進捗状況を見ながら早期の着工を図り、平成29年度の完成予定と伺っております。

質問した項目

■「かづの厚生病院」の医療体制の充実について■医学生修学資金貸付事業について■国道103号「大湯五の岱工区」の改良工事について■旧草木保育園など、市有財産の空き施設について■繰り返される不適切な事務処理について■ふるさと納税について



和井内 貞光 議員
(無会派)

質問した項目

■鹿角の交通体系整備について■安全安心のまちづくりについて■地方創生について■行政改革について■国保税の値上げと課題について



小田 修 議員
(誠心会)

鹿角の交通体系整備について

問 世紀越えトンネル事業の取組について

答 北東北の横軸を形成する重要路線として、早期整備を国県に対し粘り強く要望してまいります。

問 花輪駅前広場整備の促進について

答 関係機関との調整が済み次第、基本計画を策定してまいります。

安全安心のまちづくりについて

問 地域防災計画など各種計画見直しへの取組について

答 地域防災計画は今年度中の策定に向け作業を進めています。具体的なマニュアルは次年度以降の策定に向け準備を進めています。

地方創生について

問 鹿角市としての今後の取組組みについて

答 国の方針を見定めながら、将来にわたって自立した地域になるよう、地域課題の解決に創意工夫をして取り組んでまいります。

す。

行政改革について

問 これからの困難な地域課題に積極的に取り組むためにも、余裕を持った職員数の確保に努めるべきではないか

答 現在新たな定員適正化推進計画の策定を進めており、市民サービスの低下にならないよう努めてまいります。

問 入札の公平性、透明性確保のため電子入札制度の導入を急ぐべき

答 現在具体的な検討を進めており、早期導入に努めてまいります。

国保税の値上げと課題について

問 今回の値上げは、急であり時間をかけた検討と丁寧な説明が必要ではなかったか

答 医療費の急増と国の交付金の減額により平成25年度国保会計に大幅な不足が生じる恐れがあり、その一部を負担していただくものであります。また、様々な機会をとらえ住民への説明に努めてきたところです。

防災対策について

問

局地的な大雨によって花輪市街地を流れる大堰が昨年と同じように床下、床上浸水が発生している。市として安全対策をどのように考えているか

答

大雨・洪水警報の発令時には速やかに水門調整を行うとともに、休日・夜間には消防署や浄水場とも連携し、管理体制の強化を図っております。

また、集中豪雨などが原因で過去に越水が発生した箇所については、近隣の自治会から協力いただきながら、堰沿いに土のうを設置して嵩上げを行ったほか、市道側溝にグレーチングを設置し、排水が速やかにされるよう対策に努めているところであります。

福祉対策について

問

独居老人世帯は増加していると思われるが、市の現在の状況と今後の見通しと支援対策についてどのように考えるか

答

7月1日現在の一人暮らしの高齢者世帯数は1688世帯となっており、昨今の社会情勢から、今後増加するものと想定

しております。

このことから、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、様々な支援を展開しているところであり、今年度においては、宅配サービスを紹介するパンフレットを作成し、買い物支援の実施に向けて準備を進めているところです。

鹿角農業の主要農産物の拡大対策について

問

これまででない低米価が予想されるが、市としてどのように考えているのか

答

国では本年度より、水田活用の直接支払交付金や地域振興作物を促進する産地交付金に重点をおいた施策の見直しを図っております。

本市においても、これらの施策に沿いながら、飼料用米等への弾力的な転換を図る一方で、本年度より水田転換主力作物づくり強化事業を展開して、当地域の主力作物の中でも特に需要・採算性の高い6品目の作付けと団地化について助成を行い、農業経営環境の充実・強化を図っているところであります。

質問した項目

■防災対策について ■福祉対策について ■老人クラブの活動支援について ■空き家対策について ■公営施設の活用について ■鹿角農業の主要農産物の拡大対策について ■担い手対策について ■新規需要米について ■農地中間管理機構について



田中 孝一 議員

(公明・鹿真会)

質問した項目

■農業対策について ■高校統合について ■水害対策について

田口 裕 議員

(無会派)



農業政策について

問

集落営農組織、主要認定農家の実態を調査・把握して個別に対応支援ができないか

答

これから求められる農業経営は自らが経営状況を的確に把握し、主体的な経営を実践することが重要となると考えておりますので、引き続き関係機関が連携して支援指導を図りながら自立した農業経営の確立を目指してまいります。

問

経営相談窓口を設置してはどうか

答

これまで経営指導を担ってきた団体の営農指導部門が弱体化してきています。また、農業行政には専門家がおりません。個別の経営相談は技術者がいる団体で再度強化しなければなりません。協議会の中で相談窓口強化を指導することはできます。

高校統合について

問

統合か存続か市の考えはどうか

答

二校存続はベストではあります。県教育委員会から統合の計画が示された段階においては、

その中でも最も地域に適した高校配置が実現するように協議を重ねる柔軟な対応も必要だと思っております。

問

小坂町との協議は必要なのか

答

地域の高校を魅力あるものにするのが当面の課題であり、小坂町も同様だと思います。

問

県教育委員会の意向どおりではなく、地域の意思表示をすべきと思うが、どう取り組んで行くのか

答

二校の同窓会や関係団体及び市民、市議会の意見を集約して市としての合意形成を図った上で地域の意見とするようにしなければならぬと考えております。

水害対策について

問

花輪大堰で水害が繰り返されているがどのように対応するのか

答

花輪大堰は、平成28年度に長寿命化に向けた施設整備が県営事業として予定されていることから、その中で、遠隔操作による自動排水門を設置するなど、安全対策の強化を図ってまいります。

「あきた鹿角屋」の
今後の支援策について

問 営業は来年の2月までだが、今後の支援策について伺う

答 かつの商工会では、継続を図るべく、6次産業化に向けた新たな国の補助事業への申請などを検討していると伺っており、現時点では明確な判断はできないが、市がアンテナショップを開設した経験や性質を踏まえると経営支援を行うことは難しいと考えております。

花輪ばやしについて

問 国の重要無形民俗文化財指定を受けて今後の取り組みについて伺う

答 国や東日本鉄道文化財団の支援を受けて後継者の確保と育成、専門家を講師に迎えたシンポジウムの開催などを行っております。今年の観客動員数は雨模様にもかかわらず、7%増の15万人であったことから、今後も知名度向上やPR活動に取り組んでまいります。

問 花輪ばやしの駅前競演をより効果的に見せるため、声良鶏の銅像を祭りの時だけ移動できるように固定式から移動式にできないか伺う

答 記念碑の移設などについては、所有者の承諾が必要となるほか、土地はJR所有であることから祭典時のみの移動も含めた対応は、今後の駅前広場整備を進める中で検討してまいります。

土深井裸参りについて

問 鹿角市で唯一の裸参りであり、市の無形民俗文化財に登録されているが、水ごり場が整備されていない。地域の強い要望もあるが所見を伺う

答 市教育委員会では平成16年に「土深井裸参り」を記録保存し、映像については、市外の博物館への貸出も行っています。現在の水ごり場は簡易的な状況であり、文化財保存・伝承の観点から整備については、地元自治会と協議しながら検討してまいります。

安保 誠一郎 議員
(誠心会)



質問した項目
■消防団の支援について ■アンテナショップ「あきた鹿角屋」について ■無形文化財の保護・支援について ■就労支援について ■空き家対策について

質問した項目

■旧鹿角郡公会堂利活用計画について ■鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」について ■鹿角市の災害対策について ■「国民文化祭2014あきた」について

吉村 アイ 議員
(無会派)



旧鹿角郡公会堂利活用計画について

問 ここ数年、鹿角では災害が多発しており現在の設置場所は危険と思われる。移転、曳家の両面で検討すべきではないのか

答 移転した場合、現在の建築基準法に適合させなければなりません。一方、同一敷地内の曳家については、安全上の自主的配慮が必要なもの、法的には、既存不適格建築物にあたり、規制が緩和されることもあり得ます。いずれにしても、建築当時の歴史的な背景と景観を守るため、市民が慣れ親しんだ現在の敷地内で修復する計画です。

問 法面の崩壊対策工事はいつ完了したのか伺う

答 昭和61年頃から平成7年にかけて急傾斜地崩壊対策工事が実施されており、安全性は確保されています。

問 工事日程と修復費用を伺う

答 本年度基本計画を策定し、平成27年度に実施計画の策定、28年度には修復工事を行い、29年度

に鹿角市歴史民俗資料館(仮称)として開館する予定です。修復費用はどの程度修復するかによりますが、最低限で約1億円と試算しています。

鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」について

問 コモッセの管理運営を教育委員会にするとの提案だが、何年くらいの予定か伺う

答 併設する市民センター、子育て支援施設図書館はそれぞれの指定管理者が担い、文化ホールを含めた施設全体を直営として当面は教育委員会が行います。

問 花輪市民センターのコモッセ移転後について伺う

答 総合窓口と市民センターの受付が隣接することから、一体的に対応する場合は予想されます。しかし、地域づくり協議会の負担が大きく増えるとは考えておらず、開館当初は錯綜するかもしれませんが、慣れてくれば連携できるものと考えております。夜間の体制は詰めているところです。

花輪図書館、文化会館のオープンに向けた取り組みについて

問

コモッセを拠点とした市の一層の活性化への取り組みが大切であると考えます。今後どのように展開していくものか伺います。

答

平成20年に策定した鹿角市まちづくりビジョンにおいて、コモッセは市民の生活や学習文化活動を支援する都市機能の充実と鹿角文化の粋と魅力を集積し、市民や観光客に発信する鹿角文化の総合拠点として位置付けております。

また、運営面においては、多様な活動や交流の促進による賑わいの創出を掲げております。このことからコモッセでの市民活動や学習活動を推進し、文化ホールを中心に多くの市民が参加鑑賞する機会を創出しながら集客機能を発揮するとともに、市民の自主事業の実施、さらには商店街と連携したスタンプラリーや特典などによる買い物客の周遊を促すなど、中心市街地における人の往来を生み出す取り組みを推進してまいります。

ます。

人口減少と高齢者の住み良い街づくりを進めるための取り組みについて

問

人口減少の流れを止め、市民、高齢者の住みよい街づくりを進めなければなりません。また、青年が高校卒業を期に進学、就職等で市外へ移り住んでおります。後年若者が鹿角へ帰ってくるような対策を講じるべきと考えますが、その取り組みについて伺います。

答

進学や就職により市外に出て知見を広げ経験を積むことは自分自身のキャリアアップを図る上では意義のあることであり、本市としましては、そうしたさまざまな分野で学んだことや経験を地元で活かしたいと考える若年者がUターンできる場を確保することが重要であると考えております。得た知識や技術を生かせる雇用機会の確保や充実が不可欠と考えており、企業誘致のほか、Uターンする方の市内企業とのマッチング支援や起業支援などの効果的なUターン促進を進めてまいります。

質問した項目

■自然災害に備えた街づくりと災害復旧への取り組みについて■国民文化祭あきた2014開催への取り組みについて■花輪図書館・文化会館のオープンに向けた取り組みについて■人口減少と高齢者の住み良い街づくりを進めるための取り組みについて■県道66号十二所花輪大湯線の整備について■西山農免道路の改修について■鹿角短角牛の生産及び畜産業の振興について



黒澤 一夫 議員

(無会派)



世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会意見交換会

鹿角市議会と青森県田子町議会が構成する「世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会」は、8月9日、大島理森（青森県）、金田勝年（秋田県）両衆議院議員を招いた意見交換会をホテル鹿角において開催いたしました。

大湯から田子町夏坂間の国道103号と104号現ルート（延長32キロ）は、山岳地帯で急傾斜、急カーブが連続し、冬期間は降雪・凍結などにより安全な通行が確保できず、トンネル建設を含めたバイパスルート

（16・7キロ）の整備に向け、両市町議会も参画する「八戸・能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会」（会長・児玉市長）が重点事項として要望しており、また、両市町議会は平成18年度から世紀越えトンネル実現へ毎年研修会を開催してきたものの進展が見られないことから、研修会を展覧的に解消し、同協議会を設立したものであります。

当日は、各市議、町議が実現への思いを訴える中、大島議員から「東日本大震災以降、投資効果が悪くても目に見えない安心という価値の重要性を、八戸など巻き込んでフォーラムなどを開催し、広域的な運動としてはどうか」と提案があり、金田議員も「県のスタンスが重要になってくる。どういうルート、手段なら可能性が高くなるのか県庁の幹部などとの議論する必要がある」と述べました。

また、協議会では、10月2日に秋田県、同月9日に青森県を期成同盟会とともに訪問し、両県知事及び県議会議長に対し、要望活動を行いました。

総務財政常任委員会

(長野県小布施町)

・長野県須坂市

小布施町では「まちづくりについて」、須坂市では「新エネルギーの活用について」調査してまいりました。

○小布施町立図書館「まちとしゃテラソ」は、開館2年目で全国の優良な図書館1館に与えられる「ライブラリーオブイヤー」を受賞したり、世界的旅行会社が企画した「死ぬまでに一度は行ってみたい世界の図書館ベスト15」で堂々第6位に選ばれた図書館でありました。図書館にある古地図とGPS機能を連動させたスマートフォンアプリの制作や、お店の店主等が自分の趣味で集めた本を開放している「まちじゅう図書館」など行っておりしました。

○このほか、人口の100倍以上が訪問するまちづくりや、産学官の連携、自宅の庭を開放したオープンガーデンなどお聞きしました。

小布施町が今のように観光客がいっぱい来るような町になったのは、栗菓子屋の店主たちが始めたまちづくり

がきっかけで、行政は事業のコーディネートを行ない、あくまでも住民主体で無ければ長続きのする事業にならないとのことでした。

○須坂市では、公共施設の屋根を太陽光発電事業者に貸す「屋根貸し事業」や、山間地の田んぼの用水路を使った「ナノ水力発電」を見学いたしました。ナノ水力発電は発電量は多くないものの、発電した電力を電気柵に使い、熊や猪や猿などが田畑に入らないようにしていましたが、発電量よりも捨てる電力が多いこと、水路のゴミ等により水車への影響があるという事でした。

(参加委員名)児玉政明、中山一男、倉岡誠、吉村アイ、田中孝一



教育民生常任委員会

(岐阜県美濃市)

・愛知県一宮市

○美濃市では「木育」について視察いたしました。

木育とは、市民や子どもに木への親しみや木の文化への理解を深めること、材料としての木材の良さとその利用意義について学ぶことです。ウッドスタート事業では、地元の木材を使ったおもちゃを1歳児検診の時にプレゼント配付しておりますが、木材の搬出・製材、乾燥、加工など全て地元業者などが行うことで森林資源の循環利用を図るものであります。木育ひろば事業は、道の駅の一角に0〜2歳の親子が安全安心して木のおもちゃで遊べる居場所として開設し、平成25年度からは市内全保育園及び幼稚園に拡大しており、保育園等入園前の保護者の情報交換の場としても利用されております。

○一宮市では「中央図書館」「子ども読書のまち宣言」について視察いたしました。中央図書館が入居する尾張一宮駅前ビルは、平成24



年11月にオープンした複合施設で、図書館は5階から7階に設置され、5階の子育て支援センターや子ども一時預かり施設があるフロアには児童書エリアを配置し、商工会議所が運営するビジネス支援センターで蔵書検索ができたり、図書館内にビジネス支援コーナーを設置するなど相互利用しやすい環境を整備しております。また、駅前の交通の便がよい立地のため、学習室は土日や学校の試験期間になると160席がすぐに満室になる盛況振りだそうです。

(参加委員名)児玉悦朗、安保誠一郎、田村富男、高杉正美、宮野和秀、田口裕、館花一仁

管内調査

各常任委員会では、所管事務調査として管内現地調査を実施いたしました。

○総務財政常任委員会
8月1日の大雨被害状況について、市道岩渡線及び避難勧告発令の要因となった熊沢川法面崩落箇所を調査いたしました。

○教育民生常任委員会
修復計画がある旧鹿角郡公会堂の調査及び法テラス鹿角、谷地田町福祉コミュニティエリアを視察しております。

○産業建設常任委員会
花輪長野地内において、桃木の枯れ被害状況について調査いたしました。



総務財政

士の処遇改善を図り、保育士の離職を未然に防ぐことを目的として交付されるものであるとの答弁がなされております。

◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）中、歳入の「がんばる地域交付金」について、新聞発表された交付予定額に達していないが、残りの金額の今後の交付予定についてただしております。

これに対し、国からの交付予定額は、最終的に4億323万9千円となる見込であり、今回の補正では、今の段階で事業化できるものを計上しているものであり、残りについては、すでに事業着手しているものを財源振り替えしながら活用していきたいとの答弁がなされております。

また、「保育士等処遇改善臨時特例事業補助金」の内容についてもただしております。

これに対し、この補助金は平成25年度で終了予定であったが、県においては今年度も引き続き実施することになったものであり、保育

教育民生

◇鹿角市文化の森交流館条例の制定にあたり文化ホールなどの料金が設定されたが、これまでの市民センター利用者の負担が増えることがないかただしております。

これに対し、新設した文化ホールを利用する場合とは新たな料金設定があるものの、市民センター機能を利用する場合とはこれまでの料金体系で行うため、負担が増えることはないとの答弁がなされております。

◇鹿角市立図書館条例の全部改正について、閉館時間が午後7時までは就業後に利用するには不十分であり、さらに延長する考えはないかただしております。

これに対し、市民ワークショップや管理運営検討委員会でもかなり時間をかけて協議がなされており、県や他の市の利用状況も参考に

して決定したとの答弁がなされております。

◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）中、衛生費について、不燃物投棄場管理費の基礎調査委託料について、現在稼働している鹿角市不燃物投棄場が現行基準省令に適合していないため、適正化に向けた基礎調査を行うとのことだが、この基礎調査を行うことにより、現行の不燃物投棄場は今後どのようなことになるかただしております。

これに対し、現行の基準省令に合致していないということは、将来的に廃止しようとしても廃止できず、現在の維持管理や水質管理を将来に渡って行う必要があるが、基準省令に合致させると、より安全で安定的な維持管理を行うことが可能となり、また、10年程度処分水が安定したのが確認できれば廃止できるとの答弁がなされております。

産業建設

◇県北地区広域汚泥処理施設の建設及び維持管理等の事務委託に関する協議について、本市が参加の意向を決定した理由についてただしております。

これに対し、現在、汚水処理は鹿角処理センター内で脱水し、秋田市の臨海処理場の焼却施設に運搬し焼却処分しているが、今後、秋田市の八橋処理場の汚水処理を臨海処理場で行う予定であり、鹿角処理センターから発生する汚泥処理が数年で困難になるほか、費用負担についても単独で処理するよりも広域的に実施した方が軽減されることが明らかになることから、今回、この事業に参加するに至ったとの答弁がなされております。

◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）中、農業振興費の「そば検査体制整備事業費補助金」について

そばの品質検査が補助要件として追加されたとのことだが、受け入れ及び流通等の体制はどのようなになるかただしております。

これに対し、主食用米、飼料用米も新たな検査項目が追加されたため、これまで以上に検査に時間を要することになる。そのため早急にそばの検査体制を整備する必要がある、JA等に補助するものであり、各生産者は、一度新たに設けられる検査所で検査を受けた後、それぞれの販売先に出荷することになるとの答弁がなされております。

【第5回定例会において審議した議案の審議結果】

件 名	審議結果
[市長提出]	
◇継続費精算報告書について（八幡平中学校改築事業）	（報告）
◇平成25年度鹿角市健全化判断比率について	（報告）
◇平成25年度鹿角市資金不足比率について	（報告）
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
◇物品の購入について（コンサートグランドピアノ等）	原案可決
◇県北地区広域汚泥処理施設の建設及び維持管理等の事務委託に関する協議について	原案可決
◇鹿角市文花の杜交流館条例の制定について	原案可決
◇鹿角市立図書館条例の全部改正について	原案可決
◇鹿角市子ども未来センター条例の制定について	原案可決
◇鹿角市市民センター条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市野球場条例の制定について	原案可決
◇鹿角市スキー場条例の一部改正について	原案可決
◇鹿角市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
◇鹿角市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
◇鹿角市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
◇平成25年度鹿角市上水道事業剰余金処分について	原案可決
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
◇平成26年度鹿角市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
◇工事請負契約の変更について（（仮称）学習文化交流施設建設工事）	原案可決
◇工事請負契約の締結について（鹿角アメニティパーク武道場建設工事）	原案可決
◇平成26年度鹿角市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
◇平成25年度鹿角市上水道事業会計決算認定について	認定
◇平成25年度鹿角市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市介護保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
◇平成25年度鹿角市大湯財産区特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
[議員提出]	
◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決
◇地域経済の発展と雇用の安定に関する意見書の提出について	原案可決
◇軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書の提出について	原案可決

次回定例会は 11月28日（金）

開会予定です

会期日程は、決まり次第ホームページでお知らせいたします。
くわしくは議会事務局（30-0280）へお問い合わせください。

議会報告会～市民と語る会～

鹿角市議会では、次の日程で議会報告会を開催します。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

11月 21 日（金） 午後 6 時～

●花輪市民センター ●十和田市民センター
●柴平地域活動センター

11月 22 日（土） 午後 2 時～

●八幡平市民センター ●尾去沢市民センター
●大湯地区市民センター

編集後記

朝、晩の寒さとともに紅葉も深まる季節となりました。

さて、今回の市議会、どうりはいかがでしたでしょうか？

先日、国会では女性の活躍と地方創生という2本の柱の政策が打ち出されたと報道されましたが、地方創生といえば鹿角市でも国民文化祭やでんぱくなどいろいろな取り組みがこの秋にはたくさん行われており、その一つ一つの成功には、やはり市民の皆様の方が必要なんです。
地域の活性化のために、私たちも皆さんと一緒に取り組んでいく努力を日々していきたいと思っております。

（館花一仁）

市議会だより編集委員

委員長 館花一仁
副委員長 安部誠一郎
委員 児玉政明
和井内貞光
児玉悦朗